

## 「みなとメディアミュージアム」

環境情報学部 2 年 清水健佑

### ■概要

みなとメディアミュージアムは、8 月 1 日から 9 月末日まで行われた、地域活性化を目的としたアートイベントである。本イベントでは、ひたちなか市、ひたちなか海浜鉄道、ひたちなか市商店街、SFC の学生、各芸大の学生、他一般アーティストなどが連携し、那珂湊を舞台に展示・ワークショップを中心としたアートイベントを開催した。結果、作品を介したコミュニケーションが生まれ、地域住民のまちづくり意識に変化をもたらすきっかけとなった。

### ■詳細

本イベントは 2009 年度に行われたアートイベント、「みなとメディアミュージアム 2009」の第二弾である。今回は期間中、学生・一般のアーティストの作品を、地域商店街と昨年に引き続きひたちなか海浜鉄道車両内に設置した。地域内に作品を設置した結果、作品に関して地域住民とスタッフ・アーティスト間にコミュニケーションが生まれた。特に地域住民と SFC スタッフの間では密なコミュニケーションがとられ、会期を経るにつれ徐々にイベントに対しての理解がなされ、最終的には地域住民がイベントのバックアップ・積極的に参加するにいたった。



図 1：会期終了時に行われた、ひたちなか海浜鉄道・SFC スタッフ・地域住民・アーティストによる

トークイベントの様子

図 2：地域住民と会話をしている SFC スタッフ

会期中に見られた変化として、イベントを運営する学生と活動の一環であるイベントフラッグを見た地域住民が、商店街のアーケードにフラッグを作成する運動を起こすなどがみられた。また、店頭で設置された那珂湊地域を題材にした作品に対して、立ち寄る鑑賞者に店主が作品の概要を説明する様子も見られるなど、自らの地域に関連した作品に対して積極的に関わって行く姿勢も見られた。会期中に実施したアンケートの記述欄には、「地域の魅力を発見できた」「那珂湊の歴史を感じることができた」などの記述があり、イベントの来場者が地域の魅力を発見するきっかけにもなった。



図3：イベントを協力していただいたみなさんと

図4：那珂湊で行われているイベント「ドーナイトマーケット」

### ■今後の展望

今回のイベントの成果報告として、本基金への報告書の提出のみならず、11月22・23日に開催が予定されている慶應義塾大学 OpenResearchForum への出展を考えている。また、今回のイベントが地域の中で好評だったため来年度以降の開催も考えており、現在調整中である。

### ■謝辞

今回のイベントは、2010年湘南藤沢学会「・シンポジウム研究ネットワーク基金」の支援によって行われた。